

第8回委員会説明資料

第7回委員会での指摘事項と対応方針

令和3年2月25日

国土交通省中部地方整備局
三峰川総合開発工事事務所

分類	指摘事項	対応方針・対応	備考
モニタリング調査 (河床材料)	St1のみ粒度が粗くなっているので注視すること。支川である藤沢川の合流前の地点であること、例えば水際からドライな場所に変わった等も要因と考えられる。	調査地点の環境や条件に留意した。また容積サンプリング法による河床材料調査も追加で実施した。	資料-4-1 P.12~18
モニタリング調査 (粒度分析)	採水の粒度分析は、全体の採水状況から、全地点で採水しているタイミングで実施すること。バイパストネルのデータが無いことは重大なロスである。	できる限り検体数が増えるように分析のタイミングを設定した。	資料-4-1 P.22 参考資料 P.13

分類	指摘事項	対応方針・対応	備考
調査結果の整理	天竜川について、水位ではなく流量で整理すること。	流量(速報値)で整理した。	資料-4-1 P.19など
調査結果の整理	三峰川では流量とともに濁度が大きな要因であるため、調査日の整理においては流量と濁度を併記すること。	流量と濁度をインパクトとして整理した。	資料-4-1 P.6
調査結果の整理	洪水時には高遠ダムだけでなく、美和ダムでもダム貯水池内の土砂が巻き上げられる可能性がある。	今後の考察において貯水池、河道などで巻き上げが起こることに留意する。	資料-4-1 P.19 参考資料 P.18
調査結果の整理	魚類は、三峰川では出水後に回復していない。出水後の各分類群の回復の過程について、付着藻類、底生動物、魚類の順で現存量・個体数が回復するものと考えられる。最終的な目的を考えながら整理すること。	餌資源となる下位の生物相と関連させて考察していく。 湖内堆砂対策施設の影響を評価するという目的でデータを整理していく。	資料-4-2 P.14
調査結果の整理	自然攪乱からの回復過程を追跡することが重要。当面は河床が動きやすくなっていると考えられる。総合土砂管理を含めて流砂系の回復という視点でも重要な事象である。	長期的な視点に立てば、このような大出水からの回復も重要と認識し、湖内堆砂対策施設のモニタリングを実施していく。	—
調査結果の整理	バイパス供用後の環境を評価するにあたり、日本全体で自然攪乱が減少する傾向にある中で、自然状態に近い環境を創出したことは重要とみるべきである。		

分類	指摘事項	対応方針・対応	備考
モニタリング計画 (測量)	令和元年10月洪水は河床がかなり動いており、これは貴重な経験で、簡単なものでいいのでできれば早期に測量を実施した方がよい。来年度だと他の要因も入ってくる。縦断形が分かるとよい。航空写真から高さを測れないか確認すること。	測量は令和3年度に実施する予定である。令和元年度に撮影したUAV写真から水位縦断図を作成した。	資料-4-1 P.11
モニタリング計画 (濁度)	下流河川では濁度の連続データの重要性が高い。設置位置、設置方法について工夫すること。予備の機器を用意し、流出した場合洪水直後に再設置することも有効と考えられる。	故障や流出があった場合に対応できるよう、予備の濁度計を3台来年度のストックヤード運用までに購入予定。	-
モニタリング計画 (底生動物)	底生動物について、三峰川と天竜川で掘潜型と匍匐型の変動傾向が異なっており、興味深い。今後、大きな出水後の底生動物の種構成の回復が見られると考えられるので、今年度も同様に調査を実施していくこと。	同様の調査を実施し、大きな出水直後からの回復という視点でも調査結果を整理した。	資料-4-2 P.8～11
モニタリング計画 (陸域調査)	自然裸地が増え、河原性生物が増加していると考えられるため、陸域環境を踏査して把握するとよい。	環境基図を作成し、陸域植生や礫河原に生育するカワラヨモギ群落の面積を比較した。	資料-4-1 P.18 資料-4-2 P.17 参考資料 P.27～29
モニタリング計画 (水域調査)	魚類にとっては水深の変化が重要であるため、瀬淵構造の変化の把握も重要である。	環境基図を作成し、瀬淵の箇所数の変化を比較した。	資料-4-2 P.17 参考資料 P.27～29
モニタリング計画 (植生調査)	植生調査は令和3年度でもよいが、今年度踏査で確認しておいた方がよい。	植生調査は令和3年度に水国で実施予定であったが、令和2年度にも実施した。	資料-4-2 P.17
バイパス運用	洪水初期に土砂バイパスを運用することの効果を確認できた。降雨予測などを踏まえ、容量の回復が見込める場合には、初期より土砂バイパス運用することを検討してほしい。	天竜川ダム統管理事務所とともに協議、対応していく。	今後検討